

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	学年	第４学年	類型	共通
単位数	２単位	教科書	高校生の音楽１（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めます。 創造的な活動である創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。
学習の方法	歌唱や器楽の活動では、音楽を形作っている要素を知覚しながら、働きを感受し、それぞれの曲にふさわしい表現を工夫していきます。 創作の活動では、音素材の特徴を生かし、イメージを持って音楽を創ります。 鑑賞では、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取り、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】楽譜を理解し活用できる力、実技試験 【思考・判断・表現】演奏の技術や表現の工夫、音楽史や比較を加えた鑑賞能力 【主体的に学習に取り組む態度】学習状況（発言・挙手）

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	1 楽譜とリズム 2 様々な舞台芸術	リズム活動を中心に、楽譜とリズムの関係を学習します。 演劇、オペラ、ミュージカル、バレエを通じて、総合芸術としての楽しみ方を学習します。 日本の舞台芸術として、能、歌舞伎を西洋の舞台芸術と比較しながら鑑賞します。
2学期	3 声の世界（世界の歌） 4 楽譜と音高 5 作曲家の人生と作品	曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌います。 キーボードを使って、楽譜と音高の関係を学習します。 モーツァルトの生涯と作品について、時代背景や音楽の様式など理解しながら、より深く鑑賞します。
3学期	6 音楽の仕組み ・和音とコードネーム ・簡単なメロディ創り	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して音楽を創ります。

備考	
----	--

令和 8 年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	美術Ⅰ（光村図書出版）				
副教材							

学習目標	中学校美術の内容を発展させ、多様な表現方法や技術を身に付けます。色の世界から始まり、基礎的な技術、自分の考えをかたちに表す力を養います。 また、著名な作品や他者の作品を鑑賞することで表現力・知識を豊かにします。
学習の方法	制作することで技術を学び、必要に応じて道具・材料の知識を制作過程から学びます。自分が体験することで疑問に思うこと、詳しく知りたいことを見付け、主体的に学びます。 授業内で配布するプリントや板書を中心に行う小テストで、学んだことを整理し活用します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、提出物 【思考・判断・表現】作品、提出物、活動の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、提出物、平常の活動姿勢

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	鉛筆デッサン シルクスクリーン版画	鉛筆による細密描写を行います。対象を観察し、よく考えて、同じモチーフを繰り返し描くことで理解を深めます。また、技法や画材の知識を得ることで学びの幅を広げます。 製品には、作られた目的があり、その目的を達成するための機能や工夫があることを理解します。構想を練ったり、制作したりすることを通してデザインの意味や価値を理解します。
2 学期	オリジナルの生き物を考えよう 見て、感じて、考えて	テーマをもとに主題を生み出し、説得力のある設定を発想します。 作品をじっくりと鑑賞し、自分なりの見方を持つとともに、仲間とともに考えを深め、新たな解釈を生み出します。多様な見方や考え方があることを理解します。
3 学期	自画像	自分自身と向き合い、これからいかに生きていくか制作を通して考えていきます。単に自身の顔を描くだけではなく、そこに思いや感情を表すためにどうすればよいか考え、材料や表現方法を創意工夫します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	書道 I	学年	第 4 学年	類型	共通
単位数	2 単位	教科書	書 I （光村図書）				
副教材							

学習目標	表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てます。 漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書に親しむ活動を通して感性を高め、書の伝統と文化についての理解を深めます。 様々な場面に対応できる書写能力を育てながら、主体的に自己を表現する能力を高めます。
学習の方法	教科書、プリントを使って授業を進めていきます。書道の授業は表現と鑑賞で成り立っています。表現の分野では「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の3つの分野の各名跡を基に用筆、運筆、字形などの基本的な技法を習得します。臨書活動を中心に進めていきますが、書道史や書論等も単元毎に学習します。「鑑賞」の分野では各時代の名跡から書体の変遷、時代の流れを学習していきます。 また、自分たちの作品を相互評価することで、鑑賞力を身に付けていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 作品、学習記録 【思考・判断・表現】 作品、学習記録、活動中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 作品、学習記録、授業中の発言、挙手

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	書道の学習を始めよう 漢字の書の学習 楷書の学習	中学校までの書写の学習を振り返り、書写と書道の共通性と相違を理解し、書の世界を知ります。 全体構成の工夫について学びます。 楷書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法、運筆法を学びます。各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞します。
2学期	行書の学習 仮名の書の学習	行書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法、運筆法を学びます。各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞します。 仮名の成立と変遷、種類について学んだ上で、基本用筆を習得します。また、平安期の仮名独特の流動美や紙面構成を学び、表現を深めていきます。
3学期	仮名の書の学習 漢字仮名交じりの書の学習	用具・用材や形式、構成などの表現法を工夫し、作品を制作します。また、様々な仮名の古典を鑑賞し、話し合い、仮名の良さを味わい、鑑賞力を高めていきます。 自己の意図や狙いを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫することを学びます。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年	第 5 学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	1 単位	教科書	高校生の音楽 2 （教育芸術社）				
副教材							

学習目標	音楽の諸活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めます。 個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。
学習の方法	表現活動では、音楽を形作っている要素を知覚しながら、それらの働きを感受し、それぞれの曲にふさわしい表現を工夫していきます。 西洋音楽史、日本音楽史の観点から、楽曲の文化的・歴史的背景を学び、より深い鑑賞能力を養います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】筆記試験・実技試験 【思考・判断・表現】音楽史の観点による比較を加えた鑑賞能力 【主体的に学習に取り組む態度】学習状況・レポート発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	1 舞台芸術の世界	ミュージカル・バレエ・オペラについて、その特徴や表現方法の違いについて理解を深めます。
	2 西洋音楽史①	中世・ルネサンス・バロック時代の音楽について学び、西洋音楽が育まれてきた歴史・文化的背景について理解を深めます。
2学期	3 器楽アンサンブル	器楽アンサンブルに取り組み、仲間と協力しながら音楽を創り上げる楽しさを味わいます。
	4 西洋音楽史②	古典派・ロマン派の音楽について、音楽が時代に合わせてどのように変わりどう発展したか、理解を深めます。
3学期	5 西洋音楽史③	近代・現代の音楽について、その特徴を理解し、様々な場面での音楽の活用方法を考えます。
	6 個人研究・発表	音楽の魅力を各自が言葉で表現し、発表できる力を付けます。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	校生の音楽2（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	音楽の諸活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めま す。 個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めま す。
学習の方法	歌唱や器楽の活動を通して、音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して、 曲にふさわしい表現を工夫していきます。 ピアノの基本奏法を中心に、読譜力、ソルフェージュ能力を高め、創作活動に発展させま す。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】筆記試験・実技試験 【思考・判断・表現】創作活動・作品発表 【主体的に学習に取り組む態度】学習状況

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	1 個別実技研究 ピアノ	個別にピアノの奏法や楽譜の基本について学び、読譜 力、演奏力を身に付けます。また、音楽の諸要素について 理解を深め、主体性・積極性を養います。 学期末には学期で取り組んだことを復習し、まとめま す。
2 学期	2 実技研究 創作	音楽の仕組みを理解し、簡単な楽曲の創作を目指しま す。 学期末に創作活動の成果を発表します。
3 学期	3 音楽表現研究	1・2学期で学んだことをもとに、特色を生かし、音楽 を創り上げる喜びを味わいます。

備考	
----	--

令和 8 年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	1単位	教科書	高校生の美術2（日本文教出版）				
副教材							

学習目標	美術Ⅰで学んだ高校美術の基礎を主軸にして、応用・発展させる技術や知識を得ることです。 また、美術Ⅰでの物の見方・感じ方を更に深いものにし、作品の制作背景や作者の意図などを探る力を養うことで、新しい見方・考え方を身に付けます。
学習の方法	一つの作品にかかる時間を長くすることで、作品の完成度を高める方法を学びます。学んだ知識を活用し、積極的に制作し、より良い作品を仕上げます。 限られた時間の中で、自分の目標を持って活動します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、提出物 【思考・判断・表現】作品、提出物、活動の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、提出物、平常の活動姿勢

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	人物クロッキー ポスター	人物クロッキーを行い、人体への理解や鉛筆での表現の基礎を学びます。基礎の後には、短時間で観察し大まかな形や流れを読み取る力を身に付ける学習をします。 作品を見た人に自分の表現したいこと伝えるにはどうすればよいか、どのような見せ方をすればよいか、デザインを通して考えます。
2 学期	絵皿 仮面づくり	釉薬が吹き付けられた皿をニードルで削って絵皿を制作します。造形美だけでなく、用の美を意識してデザインを構想します。 古今東西の仮面について理解を深め、素材や用具の特性を理解して、自分だけの仮面づくりを行います。造形的に美しいだけでなく、コンセプトも併せて考えることが重要です。
3 学期	見立て写真	アングルや画像編集などの写真撮影の知識・技能を身に付け、テーマに合わせて創意工夫して様々な写真を撮影します。自らテーマを設定すること、より良い作品を作ろうと追究する姿勢が重要です。

備考	
----	--

令和 8 年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	高校生の美術2（日本文教出版）				
副教材							

学習 目標	美術Ⅰで学んだ高校美術の基礎を主軸にして、応用・発展させる技術や知識を身に付けます。 また、美術Ⅰでの物の見方・感じ方を更に深いものにし、作品の制作背景や作者の意図などを探る力を養うことで、新しい見方・考え方を身に付けます。
学習 の 方 法	一つの作品にかかる時間を長くすることで、作品の完成度を高める方法を学びます。学んだ知識を活用し、積極的に制作し、より良い作品を仕上げます。 限られた時間の中で、自分の目標を持って活動します。
評価 の 仕 方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、提出物 【思考・判断・表現】作品、提出物、活動の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、提出物、平常の活動姿勢

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学 期	木炭デッサン ポスターを考える	東京藝術大学の過去問に挑戦します。問いと深く向き合い、自分なりの答えを絞り出します。また、木炭デッサンの用具を適切に使いこなし、豊かな絵画表現を目指します。 伝えたい内容、伝える相手、与えられた条件などを基に、図柄やコピー（文字）などを考え、印象に残るポスター制作を目指し、アイデアを練っていきます。夏期休業中課題としてポスター制作をします。
2 学 期	ゲームデザインを考える	ボードゲームについて考えることを通して、人が楽しくなる工夫について理解を深めます。テーマに合うゲームを提案します。
3 学 期	オマージュで絵画	芸術は過去の作品に影響を受け、生まれます。参考にする作品をよく味わい、解釈し自分の表現に生かすことで、深く理解することを目指します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	1単位	教科書	書Ⅱ（光村図書）				
副教材							

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。 古典の持つ特徴や技術を理解し、創造的に表現する力を身に付けるとともに、鑑賞研究や指導を充実させることで書の伝統と文化への理解を深めます。
学習方法	教科書、プリントを使って授業を進めていきます。書道の授業は表現と鑑賞で成り立っています。表現の分野では「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の3つの分野の各名跡を基に用筆、運筆、字形などの基本的な技法を習得します。臨書活動を中心に進めていきますが、書道史や書論等も単元毎に学習します。「鑑賞」の分野では各時代の名跡から書体の変遷、時代の流れを学習していきます。また、自分たちの作品を相互評価することで、感じ取った印象を言葉で表現し他者に伝え合う言語活動の充実を図るとともに、その美をもたらす根拠や価値を考えていき、鑑賞力を身に付けていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、学習記録 【思考・判断・表現】作品、学習記録、活動中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、学習記録、授業中の発言、挙手

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	漢字の書の学習 篆書の学習 隸書の学習	篆書・隸書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。代表的な古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに臨書活動を通して各個展の特徴を把握し効果的な表現を身に付け、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて学びます。
2学期	草書の学習 篆刻の学習 行書の学習 仮名の書の学習	1学期に引き続き、草書・行書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。 篆書との関連を図るとともに、印の歴史と表現の多様性について学び、文字文化の視点から書の伝統と文化並びに生活や社会との関わりについて理解を深めます。
3学期	仮名の書の学習 漢字仮名交じりの書の学習 書の変遷	古筆を鑑賞し、書の美の諸要素や、表現方法・形式による効果を分析し、古筆に基づく表現や形式に応じた構成を工夫して表現することを学びます。 自己の意図や狙いを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫することを学びます。 中国と日本の書の歴史とその周辺の文化について学びます。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	1単位	教科書	書Ⅱ（光村図書）				
副教材							

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。 古典の持つ特徴や技術を理解し、創造的に表現する力を身に付けるとともに、鑑賞研究や指導を充実させることで書の伝統と文化への理解を深めます。
学習方法	教科書、プリントを使って授業を進めていきます。書道の授業は表現と鑑賞で成り立っています。表現の分野では「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の3つの分野の各名跡を基に用筆、運筆、字形などの基本的な技法を習得します。臨書活動を中心に進めていきますが、書道史や書論等も単元毎に学習します。「鑑賞」の分野では各時代の名跡から書体の変遷、時代の流れを学習していきます。また、自分たちの作品を相互評価することで、感じ取った印象を言葉で表現し他者に伝え合う言語活動の充実を図るとともに、その美をもたらす根拠や価値を考えていき、鑑賞力を身に付けていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、学習記録 【思考・判断・表現】作品、学習記録、活動中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、学習記録、授業中の発言、挙手

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	漢字の書の学習 篆書の学習 隸書の学習	篆書・隸書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。代表的な古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに臨書活動を通して各個展の特徴を把握し効果的な表現を身に付け、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて学びます。
2学期	草書の学習 篆刻の学習 行書の学習 仮名の書の学習	1学期に引き続き、草書・行書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。 篆書との関連を図るとともに、印の歴史と表現の多様性について学び、文字文化の視点から書の伝統と文化並びに生活や社会との関わりについて理解を深めます。
3学期	仮名の書の学習 漢字仮名交じりの書の学習 書の変遷	古筆を鑑賞し、書の美の諸要素や、表現方法・形式による効果を分析し、古筆に基づく表現や形式に応じた構成を工夫して表現することを学びます。 自己の意図や狙いを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫することを学びます。 中国と日本の書の歴史とその周辺の文化について学びます。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	学年	第 6 学年	類型	ヒューマニティーズ 3 教科
単位数	2 単位	教科書	Joy of Music（教育芸術社）				
副教材	音楽通論（教育芸術社）						

学習目標	音楽の諸活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めます。 個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。
学習の方法	歌唱や器楽の活動では、音楽を形作っている要素を知覚しながら、それらの働きを感受し、それぞれの曲にふさわしい表現を工夫していきましょう。 音楽進学に必要な楽典の知識やソルフェージュ能力を高めていきましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】筆記試験・実技試験 【思考・判断・表現】音楽史の観点を加えた鑑賞能力・作品発表 【主体的に学習に取り組む態度】学習状況

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	1 個別実技研究 ピアノ・フルート	個別に、ピアノ・フルート奏法について学び、技能を身に付けます。また、音楽の諸要素についても知識を習得します。
2 学期	2 実技研究 ピアノ・フルート	様々な演奏テクニックや知識を身に付け、様々な表現方法を身に付けます。
3 学期	3 音楽による職業研究	専門的な音楽進学と職業について研究します。

備考	
----	--

令和 8 年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	学年	第 6 学年	類型	ヒューマニティーズ 3 教科
単位数	2 単位	教科書	高校生の美術 3 （日本文教出版）				
副教材							

学習目標	美術Ⅰを基礎、美術Ⅱを応用として、その二つを踏まえた上で専門分野の知識を深めていきます。
学習の方法	週 2 時間の活動の中で、時間配分や制作計画などを自分で決めて活動します。 興味の湧いた分野の制作を各々が選択し、制作の計画を立て、計画通りに制作した作品を卒業研究として、東校展へ展示します。じっくり時間をかけて大作を完成させていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、提出物 【思考・判断・表現】作品、提出物、活動の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、提出物、平常の活動姿勢

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	立体表現（3D） 画材研究	一人一台端末を利用し 3D スキャン、3D モデリングを駆使し、3D データでの立体を作成し、3D プリンタで作品を作ります。 卒業研究に向け、自分の興味のある分野について、調べ学習を通じて深めていきます。様々な技法・画材を試し、自分の主題に適したものを模索していきます。
2 学期	卒業研究	卒業研究として、自分の興味のある分野を選択し、大作に挑戦します。 サイズの大きい作品を作るときに、どのような点に気を付ければ良いか学び、展示や作品のプレゼンテーションをする方法を学習します。
3 学期	卒業研究	卒業研究として、自分の興味のある分野を選択し、大作に挑戦します。 サイズの大きい作品を作るときに、どのような点に気を付ければ良いか学び、展示や作品のプレゼンテーションをする方法を学習します。 家庭学習期間を有効に使い大作を完成させます。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	書Ⅲ（光村図書）				
副教材							

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り書を愛好する心情と、書の伝統文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書的能力を高めます。 創作活動を通して生活の中で生かせる書表現の様々な形態について理解を深め、その技術の向上を目指します。
学習の方法	書道Ⅲでは、漢字の書（篆書、隸書、楷書、行書、草書の古典）仮名の書、漢字仮名交じりの書の全ての分野に触れ、作品制作を中心に進めていきます。半紙作品に限らず、半切作品や全紙作品の制作にも挑戦していきます。今までに習得してきた技法や表現力を大いに発揮し、コンクールや展覧会に出品できる作品づくりを行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、学習記録 【思考・判断・表現】作品、学習記録、活動中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、学習記録、授業中の発言、挙手

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	古典の多様性 漢字の書の学習	書は、先人たちの創造力と、他の芸術や文化、思想、文学、政治、社会などが密接に関わりながら築かれてきた文化であることを学習します。 臨書や鑑賞を通して、それぞれの古典の持つ時代性や精神性への理解を深め、個性的、創造的な表現を工夫することを学びます。
2 学期	漢字の書の学習 仮名の書の学習	臨書や鑑賞を通して、仮名書の様式美や装飾美について理解し、自己の感興や意図を表現するために用筆や線質、全体の構想を工夫することを学びます。
3 学期	漢字仮名交じりの書の学習	漢字の各書体や書風に調和する仮名の表現について考え、創造的な表現を工夫することを学びます。また、自らの思いや感動を表現する言葉と書表現との関係について考え、創作をします。

備考	
----	--